

後援会副会長挨拶

「学生生活を通して レジリエンスが高い人材へ・・・」

保証人の皆様並びに大学関係者の皆様には、日頃から後援会活動へのご支援とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

東京都市大学後援会の役割は、保証人の皆様のご子息・ご息女の修学、学生生活の向上の一助となる多岐にわたる活動を大学関係者の方々と協力して推進していく事、タイムリーな課題にも臨機応変に対処していく事にあります。

課外活動での優れた成果に対しての「後援会長賞」や「課外活動奨励賞」、「学術活動奨励賞」の授与及び会員の家計急変に対処するための「緊急奨学金制度」は、着実に実効を上げており、大学と密接な連絡をとって進めております。

今年度のトピックスは、「横浜際」は2019年度、「世田谷祭」は2018年度以来の来場者を迎え各団体の模擬店やイベントが催された事で、近隣の多くの方々に参加で活気に溢れた行事になりました。初めての準備や当日の対応など、行事に参加された学生が多くの経験を積み、学生生活の思い出を刻む事が出来た事かと思えます。

世の中では、昨年5月に新型コロナウイルスの感染法上の分類が「5類感染症」となり、海外から多くの人が日本を訪れ人の往来も取り戻しつつある中、企業や世間ではリモートワークの働き方、ワークライフバランス(WLB)を重視した働き方に舵をきっている状況ですが、ベースとなるのは人の繋がりで、学生生活でも会社生活でもコミュニケーション力が更に重要になってきている状況です。

学生生活の先には社会で働くという事の意識醸成も重要な視点で、経産省が唱えている“人生100年時代の社会人基礎力”や、レジリエンス(回復力)が高い“レジリエントな人”を育てることが期待されております。社会に期待される人材育成にも後援会として寄与できる事は尽力していきたいと考えております。

永年に渡り東京都市大学の学長を務められてきた“三木学長”が2023年12月末をもってご退任され、東京都市大学の発展に尽力されたご功労に感謝致します。後援会にも思いを寄せて頂き、交流を深めて頂いた事は感謝の極みでございます。

最後に、後援会は保証人の皆様の代表として大学の教職員の方々と協力し学生の生活環境の改善に取り組んでいます。保証人の皆様には、引き続きご支援を賜りますよう宜しくお願い致します。



東京都市大学 後援会 副会長

横山 宏